

# 大砂土東小学校 学校応援団だより

発行 大砂土東小学校 学校応援団事務局

## PTA・学校応援団・地域団体がパワフルに連携～PTA主催「松の子まつり」 大砂土東小学校 校長 高後 仁

PTA主催の「松の子まつり」が11月23日（金）、「祝 20回記念 松の子アニバーサリー」をテーマに本校で開催されました。この事業は、①子どもたちに遊び尽くしてもらう ②子ども・保護者・先生・参加団体のコミュニケーションを図る——を主目的としています。事業の運営には、松の子まつり実行委員会の綿密な計画の下、学校応援団を構成する大砂土東小チャレンジスクール実行委員会・お父さんの会及び青少年育成大砂土東地区会、並びに本校を拠点に活動するスポーツ少年団5団体及びバドミントンサークル等が参画しました。催し物は、PTA環境美化委員会が担当した体育館での「バザー」と、参加団体がそれぞれに趣向を凝らした「ゲーム」でした。

バザーでは、1学期から数回にわたり保護者に提供品を募るとともに、地域の個人商店や量販店にも多大のご協力をいただきました。当日は、開場時刻の午前10時前には体育館南側に300人を越す保護者・児童・地域の方々の列ができ、大盛況のうちに約30万円の売上げがあったと伺っています。私には、袋を3つも抱えたある中学年の児童が「ボクね、お楽しみ袋を買ったんだ。何が入っているかウチで開けるんだ」と笑顔で話しかけてきたことがとても印象に残りました。なお、本校の職員も、9人が売り子として“接客”に汗を流しました。

ゲームは、ヨーヨーつり・さかなつりゲーム・手裏剣投げ・輪投げなど14種類が第1及び第2校舎内にセットされ、本校児童や地域の未就学児等がチケット代を上回る景品の獲得を目指して“奮闘”していました。ゲームの運営には職員9人もお手伝いとして加わり、投てき物の回収や的のリセット等に忙しく動き回っていました。私も児童の応援を受けながらいくつかゲームに興じたところですが、児童がゲームをとおして参加団体の皆様や本校職員と和気あいあいと交流する光景は、何ともほほえましく、また感動的でした。

ところで、例年校長を含む5～6人の職員がアニメ等のキャラクターに扮し、トレジャーハントゲームのターゲットになっています。私は、今年はディズニーのミッキー役をPTAから仰せつかりました。真っ赤な半ズボンに黄色の蝶ネクタイ・白手袋なる出で立ちの私をご覧になった自治会のある役員さんから、「校長先生もこんなに楽しんでいるのだから、子どもたちはその何倍も何倍も楽しいわけだよ」との嬉しいお言葉をいただきました。

私は、PTAを核に、学校応援団や地域団体が知恵と力を寄せ合って「松の子まつり」を創り上げていくエネルギーを目の当たりにし、「こんなパワフルな皆様に囲まれながら育ちゆく子どもたちは、そして本校は何て幸せなんだろう」と胸が熱くなりました。

なお、本校PTAは、上述した「松の子まつり」の開催をはじめ、全Pパトロール・地域のつどい・ベルマーク収集・広報紙コンクール入賞など数多くの活動実績が高く評価され、11月22日に栄えある日本PTA会長表彰を受けられました。まことにおめでとうございます。

## 金管バンドが学校と地域の連携促進に一役～自治会の運動会で演奏

学校地域連携コーディネーター 長沼 幸男

キーファーミュージックバンド

学校と地域の連携促進に、本校の金管バンド（愛称は「KIEFER Musik Band」）が演奏を通じて一役買っています。当該バンドが、堀崎町自治会及び大和田自治会それぞれの運動会において、入場行進曲の演奏等を行い、地域行事を盛り上げるためにがんばっているのです。両自治会には学校応援団として、日ごろ学校安全や教育活動の面で多大なるご支援をいただいています。

### 1 堀崎町自治会運動会

堀崎町自治会運動会は、平成24年6月3日（日）に堀崎中央公園で開催されました。金管バンドが堀崎町自治会の運動会で演奏をするのは今年が初めてのため、体育部長さんとは電話や書面で何度か打合せをしました。楽器の運搬は、往復とも自治会所有の車で行っていただきました。

さて、この時期は4年生が入部まもないため、5、6年生31人の出演となりました。午前8時45分、本部テント前に整列された自治会長さんや来賓の皆様の拍手を受けながら、選手・役員の入場行進が始まりました。金管バンドが演奏した曲は、「負けないで」と「空も飛べるはず」でした。続く開会式の中では、カップ返還に合わせてヘンデル作曲の「見よ、勇者は還る（得賞歌）」を奏で、場内の雰囲気を一気に上昇気流に乗せました。

自治会総務部長さんは、「生演奏の中で入場行進をさせてもらうと気分が違うね。金管バンドの皆さんから自治会全体がパワーをもらったような気になりましたよ」と喜んでおられました。

### 2 大和田自治会運動会

大和田自治会運動会は、9月30日（日）に本校校庭で開催されました。金管バンドの大和田自治会運動会での演奏は今年で3回目を数え、4～6年生52人が出演しました。

自治会長さんや来賓の皆様が本部テント前に整列する中、金管バンドの「Rising Sun」の伴奏にのって午前9時に選手・役員の入場行進が始まりました。さらに優勝杯返還では、定番の得賞歌を高らかに奏でました。演技上の注意がなされた後、司会者が金管バンドの演奏を「素晴らしい！」と称えると、会場から一段と大きな拍手が沸き上がりました。

自治会体育部の副部長さんは、「暑い中、ありがとうございました。おかげさまで、入場行進もスムーズにできましたし、トロフィーの返還も気持ちよくできました」と述べておられました。



金管バンドは、学校内では儀式的行事等において活躍していますが、自治会運動会のような地域行事にも協力することでメンバー一人一人のより一層の自己実現が図られるものと期待されます。

部長の松田樹璃さん（6年）は、「緊張しましたが、このような場で演奏ができて、とてもうれしいです」と話していました。



堀崎町自治会の運動会で演奏する金管バンド



金管バンドの伴奏で入場行進する大和田町の皆様

## ◆現在活動されている団体のご紹介◆

### ●お父さんの会（会長 小野寺 隆 様）

本会ではこれまで、学校ファームにおけるサツマイモの苗植えと収穫、防災デイキャンプ、そば打ち体験等の活動を親子で行ってきましたが、今年度は初めて伝統的な創作活動として「竹の玩具作り体験」に取り組みました。67名の親子の参加がありました。概要は、以下のとおりです。

- 目 的**
- ①竹を素材とした玩具作りをとおして、自然素材の特徴や工具の使い方を学ぶ。
  - ②親子・異学年で創作活動を行うことによって、親子の絆や学年間交流を深める。
  - ③子どもたちが共同で製作した玩具で遊ぶことで、自ら「思い出づくり」をする。

**日 時** 平成24年9月2日(日) 9:00~15:00

**場 所** 大砂土東小学校中庭 **参加費** お父さん：500円、子ども：300円

**内 容** 午前：お父さんたちの援助のもと、子どもたちが積極的にのこぎり、やすり、きりなどを使って、竹を素材にした玩具（水鉄砲、ぶんぶんコマ、ポックリ）を作った。また、竹を裂いて流しそうめん台を設置した。

昼食：家庭科室で茹でたそうめんを流しそうめん台に流し、歓声の中、楽しく食べた。

午後：午前中に作った玩具を用いて、昔あそびの感触を満喫しながら親子で遊んだ。

**感 想** 子どもたちの明るく元気な声が校舎に響き渡り、夏休みの楽しい思い出の一つになったのではないかと考えています。参加されたお父さん・お母さんたちも本当に楽しそうでした。本会では、①親子のふれあい②学校・PTAや地域への協力③会員どうしの交流——などを目的に活動しています。これからもたくさんの笑顔に出会えることを楽しみに、元気に活動していきます。

### ●大砂土東小チャレンジスクール実行委員会（委員長 角田 政弘 様）

チャレンジスクールの実施にあたっては、幅広い世代のスタッフが各々の経験や技術を生かしながら、子どもたちの安全確保や活動補助等に携わっています。本紙面では、その中から大砂土東小卒の2人の大学生スタッフを紹介します。記載の便宜上、自己紹介の形をとります。

【内田志穂実さん＝大学3年、女性】

大学では人間生活学部の人間発達心理学科に在籍しています。養護教諭を目指して勉強中です。

昨年度までは大学をとおしたボランティア活動にいろいろと関わってきましたが、地域活動にもボランティアとして参加したいと考え、今年度チャレンジスクールのスタッフに応募しました。

チャレンジスクールでは、受付のお手伝いに始まり、子どもたちへの学習支援や体験活動の補助を行っています。スタッフとして活動する中で、学校と地域が連携・協力し合いながら子どもたちを育てていくことの重要性を身をもって知ることができたような気がします。

【須藤康太さん＝大学2年、男性】

大学では文学部の史学科に在籍しています。将来は高校の先生になりたいと思っています。

堀崎町の「SSCあすも」でアルバイトをしたときに、母校・大砂土東小でチャレンジスクールが実施されていると聞き、スタッフになりました。

チャレンジスクールでは、主に子どもたちの自主学習のサポートや活動の見守りをしています。また、スポーツやゲームに積極的に加わって子どもたちとコミュニケーションを深めています。

スタッフとしての感想ですが、1つは子どもたちの柔軟な考え方や発想力の豊かさに毎回驚かされることです。もう1つは、スタッフの皆さんが同じ一つの目的に向かって活動される姿を見るたびに、自分がその中の一員として関わっていられることにうれしさを感じるということです。

## ●大和田子ども会（会長 五月女 佳子 様）

大和田子ども会様には、本年7月より学校応援団としてご協力をいただいています。子ども会は、社会教育の場で子どもたちの健全育成に取り組んでおられる団体で、本市では単位子ども会をベースに、区の連合会、さらには市の連絡協議会が組織されています。

学校応援団へのご加入を機に、会長さんに大和田子ども会の目的等についてお尋ねしました。

### ——貴会の目的を教えてください。

「大和田子ども会の目的は、異年齢の子どもたちが集まり、ともに遊び活動をする中で思いやりの心や協力する心を育み、もって子どもたちの健全育成に資することです」

### ——貴会には、会長のほかにどのような役員の方がいますか？

「役員は保護者7人で、その中に会長・副会長及び会計がそれぞれ1名ずついます」

### ——貴会では、会員募集をどのように行っていますか？

「対象となる会員は大和田町に住む小学生で、毎年3月に大和田自治会の回覧をとおして募集しています。ただし、基本的には随時受け入れていますので、お気軽に私にお電話ください。電話番号は、688-7566です」

### ——貴会の主催事業にはどのようなものがありますか？

「6月には、見沼たんぼで『ジャガイモ掘り体験』を行っています。毎年大きなジャガイモがいっぱい穫れ、子どもたちはみんな大満足です。



サンタさんもやって来るクリスマス会

10～12月には、『21世紀埼玉郷土かるた大会』に向けた練習会を行います。1月に本会のかるた大会があり、代表が見沼区大会に進みます。本会の児童はこれまで何度も見沼区大会を勝ち抜き、さいたま市大会さらには県大会に出場しています。

12月には、『クリスマス会』をします。ビンゴゲーム、そうきんがけリレー、ジャンボかるた大会などで大フィーバーします。サンタクロースもプレゼントをもってやってきます。

3月には、『6年生を送る会』を開催しています。ボーリング大会などの思い出づくりをとおして、6年生に感謝や激励の気持ちを伝えています」

### ——他の団体が主催する事業に貴会の子どもたちが参加することはありますか？

「大砂土東地区には、私どもの会の目的を達成する上で非常に魅力的な事業を行っている団体がいくつもあります。そこで、『見沼区ふれあいフェア』（11月）をはじめ、大砂土東公民館ほか主催する『ウォークラリー大会』（4月）や『昔あそび』（8月）、大和田自治会主催の『大和田子ども夏の祭典』（8月）などに会として参加しています」

### ——子ども会の事業や活動をどのような方法で広報していますか？

「さいたま市子ども会育成連絡協議会（通称 さいたま市子連）では、ホームページで事業や活動等をお知らせしています。私どもが所属するさいたま市見沼区子ども会連合会では、毎年5月に区子連だよりを発行し、子どもたちの生き生きとした活動の様子をお伝えしています。また、大和田自治会会報『おゝわだ』に年1回、本会より活動報告を寄稿しています」

### ——貴会の課題はなんですか？

「会員が減少傾向にあること、目新しい活動を興す必要があること、役員のなり手がなかなか見つからないこと——などがあげられます。」

（取材・編集 学校応援団事務局）